

観光社会資本の事例

テーマ	海に親しみふれあう水辺の空間
<p>【施設の状況写真】</p> <div data-bbox="181 389 927 875"></div> <div data-bbox="956 483 1449 871"></div> <div data-bbox="280 891 1378 987" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>「かわうち・まりん・ビーチ」は、下北半島のほぼ中央に位置し、陸奥湾に面した自然体験などができる人工海浜です。</p></div>	
<p>【施設の利用写真】</p> <div data-bbox="150 1059 512 1525"></div> <div data-bbox="161 1525 507 1570" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"><p>シュノーケリングによる自然体験</p></div> <div data-bbox="523 1059 1007 1420"></div> <div data-bbox="603 1420 959 1464" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"><p>海水浴風景</p></div> <div data-bbox="1019 1189 1441 1496"></div> <div data-bbox="1051 1496 1414 1541" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"><p>シーカヤックによる自然体験</p></div>	
<p>【観光資源としての利用状況】</p> <p>むつ市川内町川内港に整備した「かわうち・まりん・ビーチ」は下北半島のほぼ中央部に位置し、平成13年に海水浴場が暫定オープンして以来、平成15年に人工海浜が完了し下北半島最大の海水浴場として年々利用者が増えています。</p> <p>ビーチに隣接する埋立公有地には、平成16年には、世界の貝を展示し海の映像を楽しめるシアターホールを併設した木造建築の「海と森ふれあい体験館」が完成し、ビーチと一体となりむつ市川内町の花、川、森での環境教育が行なわれています。ビーチではシーカヤック、シュノーケリングによる自然体験を実施しており、多くは親子での参加者です。</p> <p>また、人工海浜ではビーチバレー、多目的広場では3オン3のイベント会場としても利用されています。</p>	

テーマ	海に親しみふれあう水辺の空間
【社会資本の基礎データ】	
名称	かわうち・まりん・ビーチ
所在地	青森県むつ市川内町川内
事業名	海岸環境整備事業
事業主体	青森県
事業期間	平成4年～平成18年
【社会資本の役割・効果】	
<p>川内港の海岸は、以前は豊かな自然を背景に良好な水質を保持した天然海岸が広がっていましたが、国土保全と背後の人名及び財産を守るための護岸が整備された結果、人々を海辺から遠ざけてしまいました。そこで、老朽化した直立護岸を改良し面的防護を取り入れ、人工海浜(養浜・磯)を主体とし海と親しむ空間づくりを目的に整備されました。</p>	
【位置図】	
【関連ホームページ】 むつ市 http://www.city.mutsu.aomori.jp/	